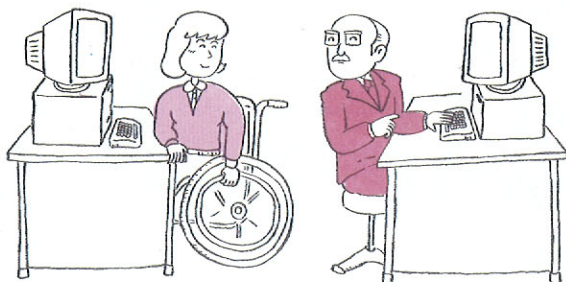


## 雇用・就業 雇用環境の整備

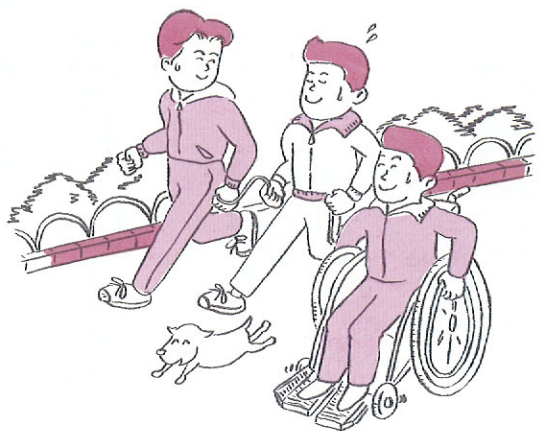


高齢者は長年培った知識や経験を生かしてもっと働きたいと思っています。障害者も職業を持ち自立したいと願っています。条例では、県に対しては、高齢者や障害者の職業能力の開発・向上のための施策や、職種・職域の拡大に関する施策を進めることを定めています。一方、事業者に対しては、施設の整備はもちろん、高齢者や障害者の能力を正當に評価し、雇用の場の確保に努めるよう規定しています。

高齢者や障害者が働く場合は、一緒に働く人たちの障害への理解や思いやりも重要になってきます。

## スポーツ・レクリエーション・文化

「スポーツ・レクリエーション・文化への参加促進」



視覚障害があつても、彫像に手でふれて鑑賞することができます。アーチェリーのように車いすでもできる種目もまだまだたくさんあります。また、健康者が車いすに乗れば、障害者とともに車いすバスケットボールゲームを楽しむことができます。障害があるスポーツは難しいと思ひ込んでいませんか？ 発想の転換と理解、それに整備された施設があれば、方法はそれぞれに違つても一緒に文化・スポーツを楽しむことができます。

## 情報

### 「電気放送利用における利便の増進」

最近、テレビで、聴覚障害者のために手話を入れたり、字幕が出たり、あるいは、視覚障害者のために副音声で状況説明をしている番組が見受けられるようになりました。また、音量調節機能付公衆電話は、耳



の不自由な高齢者などにとって大変便利なものですし、FAXの普及により聴覚障害者の通信手段が広がりました。

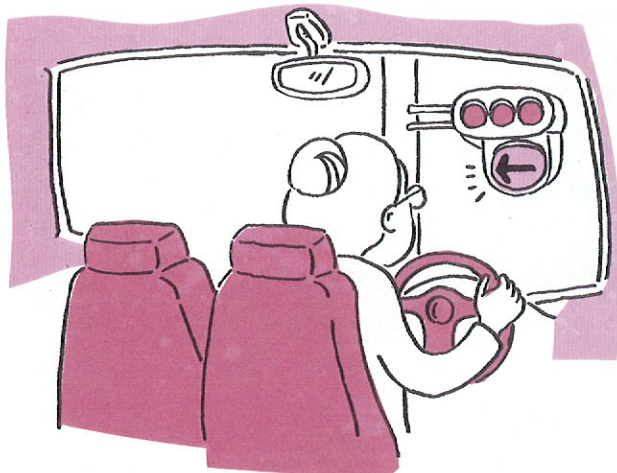
これまで、障害者や高齢者に届く情報も少なければ、障害者の意思を伝える手段も限られていましたが、技術開発がいろいろな形でコミュニケーションを可能にしつつあります。県聴覚障害者情報提供センターでは、昨年十一月から、手話と字幕付きのビデオニュースの制作を始めました。

やさしさへの技術開発が障害者や高齢者の自立や社会参加に大きく貢献することもあります。

## 防犯・防災など

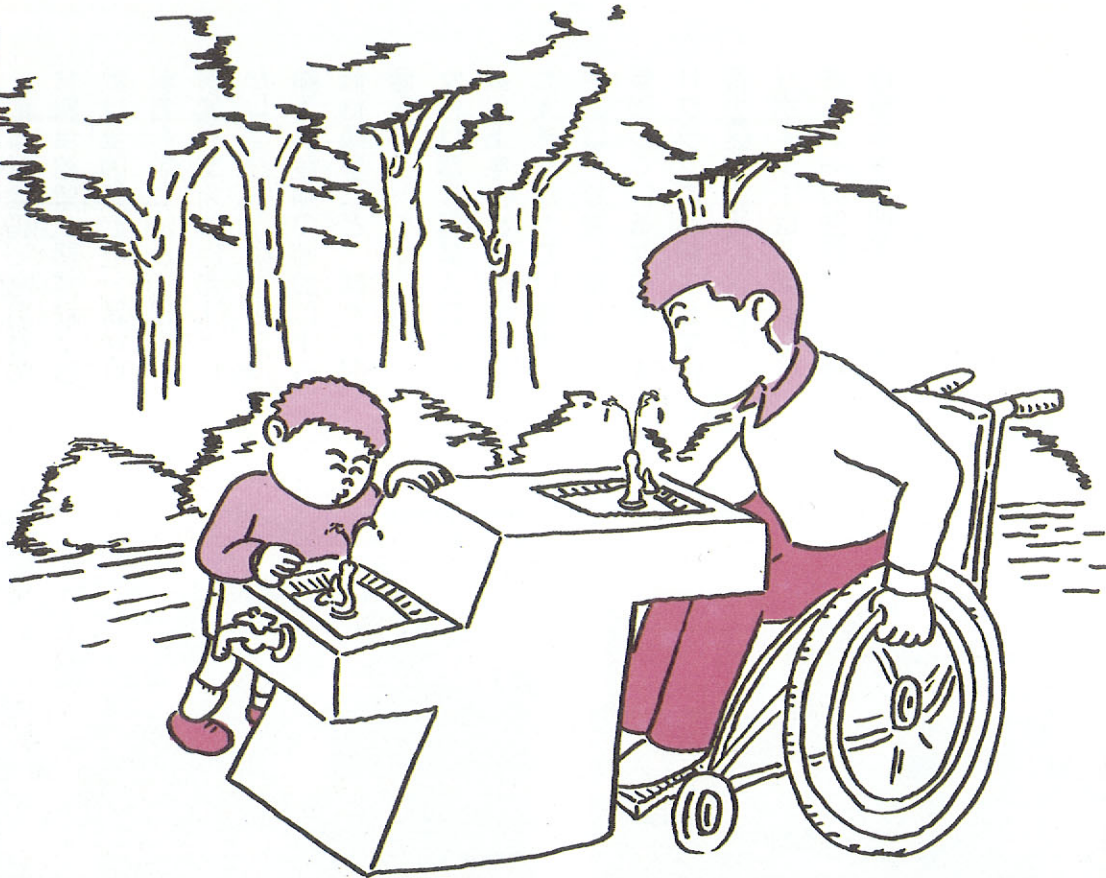
### 「防犯・防災・交通安全保持」

高齢者等に配慮した表示が大きい信号機



足の遅い高齢者にとって、横断歩道を時間内に横断するのはとても大変。高齢者や障害者にとつて、道路や交差点はとても危険で怖いところです。横断時間の長い押しボタンの付いた横断歩道や音声誘導サービスが多くなれば、まちは安心して出掛けられる場所になります。

また、独立して生活している障害者や高齢者のための緊急災害時のシステムづくりも重要になってきました。



## 生活環境

### 「道路・公園」

高齢者や障害者がまちに出て楽しく過ごすには、まず道路の整備が不可欠です。例えば、歩道と横断歩道との段差をなくせば車いすで行けます。視覚障害者は誘導ブロックがあれば安心して歩けます。

また、移動するときには途中で休憩できる公園があると助かります。公園内にも段差のない通路があると車いすがスムーズに進めます。

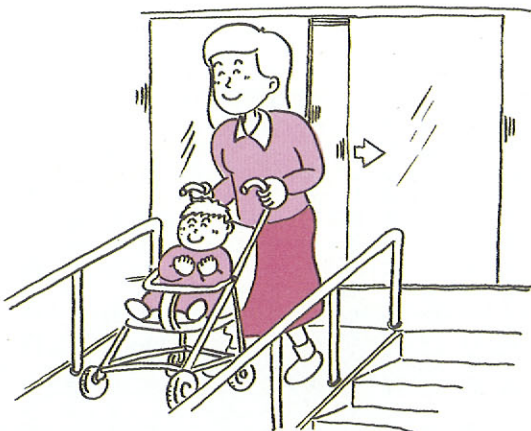
また、移動するときには途中で休憩できる公園があると助かります。公園内にも段差のない通路があると車いすがスムーズに進めます。

進めます。障害者用トイレはもちろん、ベンチにもひと工夫ほしいものです。

今後、条例に基づき、道路や公園の整備を進めますが、施設が整備されればそれで十分というわけではありません。例えば、誘導ブロックの上に自転車や物が置いてあると役に立ちません。せつかくの配慮も台なしです。やさしいまちをつくるのは、やはり人のこころ次第です。

## 生活環境

### 「建築物の整備」



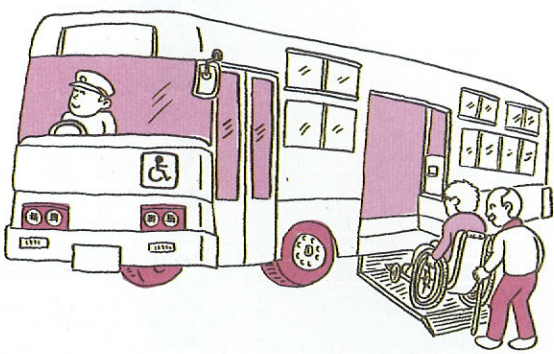
たった五センチの段差があるだけで、車いすは前に進めません。車いすを使ったりペビーカーを押している人は、重いドアの開閉はできません。階段がスロープだったら、ドアが自動式だったら、まちへ出掛けるのが苦痛でなくなります。

建築物は建ててから改築すると、大変な費用がかかりますが、初めに配慮して設計すると、費用面での影響は少ないといわれています。本条例では、役所、病院、スーパーマーケットなど公共的な建築物の整備を促すとともに、建築主に対して、あらかじめ工事内容を事前に協議することを義務付けています。

## 生活環境

### 「公共車両などの整備」

車いすでそのまま乗れるバスがあるとい



いですね。社会活動に参加するのに、交通手段は大切な要素です。県では、公共交通機関の乗り物の整備を積極的に進めています。

昨年八月から交通センターと長嶺との間をリフト付バスが走り始めました。これは車いす乗降用のリフトを備えたバスのことで、座席も車いすを安全に固定することができます。

また、この春からは新たに三台のリフト付バスが走り始めました。これらのバスは乗降用のリフトに加え、ステップも三段から二段に減り、より低床になったものもあり、高齢者や妊産婦などの方も乗り降りが楽になったと好評です。いずれのバスも運転手が乗降口までやつてきて操作するので、ちよつと時間がかかります。ちよつと待つ心のゆとり。みなさんのご理解と協力を。